

なつき

登録番号：第7327号

登録年月日：平成11年8月11日

登録者：長野県（長野県長野市南長野字
福下692-2）

育成者：宮沢孝幸 山西久夫 羽生田
忠敬 白田 彰 山下裕之

小松宏光 飯島貞次 馬場幸
幸

歴：「川中島白桃」と「ちよひめ」
の交雑実生

育成地：長野県須坂市（長野県果樹試
験場）

特性

■栽培特性

樹姿は開張と直立の中間を示し、樹勢および樹の大きさは中程度である。枝梢の太さは中、節間長はやや長い。花芽の性状は単複芽であるが複芽の比率が高い。花芽の着生や枝梢の発生は安定している。葉身の形は長く、葉の大きさは大きい。

育成地（長野県須坂市）における開花期は4月下旬～5月上旬で、「川中島白桃」とほぼ同時期である。花は普通咲きで、大きさは大きい。花粉は無い。生理的落果および核割れの発生は少ない。

成熟日数は満開後91～100日の範囲にあり、「日川白鳳」と同時期か、やや遅く成熟する。長野県須坂市で7月下旬に収穫できる。

■果実特性

果形は扁円形であるが、「川中島白桃」に比べてやや円形に近い。果頂部の凹みはかなり浅く、こうあ部の広さおよび深さは中程度である。縫合線の深さは浅い。果実の大きさは250g前後とやや大きく、玉揃いはやや良である。果皮の地色は緑白色、着色はぼかし状の濃紅色に着色する。裂果の発生はほとんど見られないため、無袋栽培が可能である。

果肉色は乳白色、果肉内および核周囲の着色は少ないが、果皮着色が多い場合は、果肉内の着色がやや多くなる傾向がある。果肉は緻密で、肉質は溶質である。果汁は多く、甘味は中程度、糖度は屈折計示度で11～13%である。酸度はpH4.8前後で酸味は少ない。核と果肉の粘離は粘核である。日持ち性は中程度で「日川白鳳」並みである。

■病虫害抵抗性および栽培上の留意点

病虫害に対しては他の主要品種とほぼ同等であるため、主要な病虫害については十分な防除対策が必要である。

花粉がないため結実確保には、花粉の多い品種を受粉樹として導入して混植を図るか、人工受粉を実施する必要がある。受粉樹としては主要品種である「白鳳」、「あかつき」と高い交雑和合性を示す。生産性については異常花、双胚果および核割れの発生は少なく、生理的落果は「川中島白桃」並みに少ないため、生産は安定している。

裂果の発生がほとんど見られず、果皮の着色も良好なため、無袋栽培は可能である。

■地域適応性

長野県以外での試験事例が少ないため、他県での栽培は未知数ではあるが、現在モモ栽培が行われている地域での適応性は十分あると考えられる。

長野県内での試験事例では、成熟期に降水量が多い地域や梅雨期と重なった年では、糖度の低下が指摘された。本品種の特性を十分に生かし、高品質の果実を生産するためには成熟期に降水量が少ない地域が望ましい。

(田尻勝博)